



病院NEWS

no.
338
2012
08/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/ 病院長 千田 彰一

都道府県がん診療連携拠点病院としての本院の活動

腫瘍センター長 合田 文則

がん診療連携拠点病院は平成18年に施行された「がん対策基本法」に基づき、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん医療の均てん化を目標に整備されました。香川県では都道府県がん診療連携拠点病院として本院が、また地域がん診療連携拠点病院として香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、三豊総合病院が指定されています。本院ではこれを機に腫瘍センターを開設し多種多様な業務を行っています。

診療体制

1)標準治療、集学的治療等の提供

年間1300人の新規がん患者が当院を受診しています。手術、放射線療法、化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供しています。がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるようカンサーボード(手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等のカンファレンス)を定期的開催しています。

2)化学療法の提供

がん化学療法プロトコール審査委員会において抗がん剤のプロトコール(抗がん剤の組み合わせや投与量、期間のメニュー)を審査し組織的に管理しています。現在登録しているプロトコールは634件です。また、外来化学療法室を整備し年間のべ3500人が利用しています。

3)放射線療法の提供

放射線療法の更なる充実を図るために今年1月に放射線治療部を新たに設置しました。

4)緩和ケアの提供

医師(麻酔科医、精神科医、腫瘍センター医師)、がん性疼痛看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、理学療養士、管理栄養士、臨床心理士、社会福祉士等からなる緩和ケアチーム(K-ist痛みサポートチーム)の診療を年間80-100人が受けています。また緩和ケア外来も開設しています。

5)地域連携の協力体制

5つのがん診療拠点病院と香川県医師会、行政(香川県)からなる「香川県がん診療協議会」を開催し香川県全体のがん診療連携の協力体制を構築しています。また、5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)については、香川県下で統一した地域連携クリティカルパスを運用し地域の医療機関と共同の診療を行っています(診療報酬対象)。

6)セカンドオピニオンの提供

手術、放射線療法、化学療法の専門医によるセカンドオピニオン(FAX予約)を提供しています。

教育、研修の実施体制

1)がん専門医療人の育成

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム(10大学)と連携し、がん専門人を養成するとともに香川大学医学部大学院のプログラムとしてがんに関わる医療者を対象にUP-TO-DATEなセミナー、研修会を開催しています。

2)研修会

がん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修会(2日間、診療報酬対象)、早期診断、副作用対応を含めた放射線療法・化学療法の研修会および緩和ケアおよび在宅緩和ケアカンファレンスを開催しています。また、緩和ケアチームの研修も受け入れています。

情報の提供体制

1)がん相談支援室

相談員研修を受けた専門の相談員(がん看護専門看護師、臨床心理士、社会福祉士等)が、がんに関する各種相談に応じています。医療関係者や医療機関からの相談も歓迎します。

2)がん患者サロン

がん患者同士が語らえる場として定期的開催しています。

3)がん登録

「標準登録様式」による院内がん登録を行い、データの分析、評価をしています。2008年以降は100%登録しています。また、香川県からの委託を受け地域がん登録も行いがん対策の資料として提供しています。

4)ホームページ

香川県のがんに関する情報の詳細は香川大学医学部附属病院腫瘍センターのホームページ <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/ccc/index.html> のバナーから閲覧できます。一度お立ち寄りください。

「県新広域災害・救急・周産期医療情報システム」が4月より稼働しました

救命救急センター長 黒田 泰弘

本システム(図1)は、県内の全救急車に搭載され、救急救命士が入力した傷病者情報はインターネットを介して県内全医療機関、消防本部で双方向に共有でき、災害時のトリアージタグにも応用できる先進システムです。

救急救命士はデジタルペンで傷病者メモ(図1右)に個人情報およびバイタルサインなどを入力し(図1左上)、トリアージカテゴリをチェックします。傷病者メモは、右下の送信マークをチェックすることによりサーバに送られます。

救急救命士はスマートホンを持ち、それには直近3時間の全県医療機関の受け入れ状況が表示されるので、救急救命士はこの情報、傷病者の状態などを総合判断して病院選定を行います。傷病者受け入れが決定した病院のみに個人情報が開示されます(図2)。病院側としては、傷病者が到着する前に個人情報やバイタルサイン、事故状況などを正確に把握できる利点があります(図3)。

図2はある日の90分間で、救急車8台が稼働し、そのうち2台が当院に搬送している状況です。軽症(緑タグ)の傷病者はありませんが、本システムは救急車の適正利用の判断にも使用できそうです。

図3は救急救命士による傷病者観察メモの記載例です。

98-13-03281	高松西	14:20	女性	急病	完了	女子が脳神経外科病院	14:30	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-06281	高松三木	13:58	男性	転倒	完了	香川大学医学部救急病院	08:18	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-06607	高松塩江	13:29	男性	胸し	完了	五ノ宮救急病院	14:04	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-05904	高松北	13:25	男性	転倒	完了	高松赤十字病院	16:34	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-06607	小豆島4	13:12	女性	急病	完了	土庄中央病院	13:21	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-02942	高松内海	13:02	男性	転倒	完了	香川大学医学部救急病院	13:13	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-05118	高松南	12:58	女性	転倒	完了	香川大学医学部救急病院	12:59	-	診療情報	個人情報	確認済
98-13-06173	小豆島1	12:36	男性	転倒	完了	その他	13:09	-	診療情報	個人情報	確認済

図2

バイタルサインの把握に加えて酸素投与を行ったことが記されています。救急救命士の業務



図1

は行政、消防、病院などによるメディカルコントロール体制によってその質が保証されますが、本システムはその質の評価に使用できます。

本システムでは病院の応需情報入力が必要ありません。正確な応需情報の入力も全国どこでも不可能でしたのでこの対応は現実的です。またスマートホンで撮影した画像(例:事故現場)も送られます。診療の質を向上させる観点からは、事故状況の把握は非常に重要です。本システムは救急隊が搬送するすべての傷病者に適応されています。よろしくお願い致します。



図3

かがわ肝疾患ネットワーク発刊によせて

香川県肝疾患診療連携拠点病院 事業担当者
消化器・神経内科学 教授 正木 勉

当大学病院は、平成23年4月に肝疾患診療連携拠点病院の指定を受け、肝炎相談窓口を平成23年5月23日に開設しました。現在、肝疾患診療連携拠点病院は、ウイルス性診療における良質かつ適切な医療を提供するための病診連携体制の中心的な役割を果たし、香川県におけるウイルス性肝疾患、肝がん治療の診療に大変重要な役割を果たしています。これまで、肝疾患診療連携拠点病院として、広く県民の皆様へ肝臓病の知識、最新の治療法を啓蒙するため、日本肝臓学会主催の市民公開講座を毎年行ってまいりました。また、専門医、地域の肝臓疾患に携わる先生方には、最新の情報を提供するため肝炎専門医療従事者研修会、講演会等を積極的に行ってまいりました。また、C型肝炎、肝細胞がんのクリニカルパスも当院で作成されたものが、県内で広く使用されております。

この度、これまで当院と香川県立中央病院、香川県健康福祉部業務感染症対策課が中心となり取り組んできた事業内容を「かがわ肝疾患ネットワーク」という小冊子にまとめることになりました。この冊子により地域の肝疾患治療に携わる先生方に肝疾患の最新の知識を提供できればと考えています。

「かがわ肝疾患ネットワーク」の発刊は今後も継続して行い、近い将来、香川県におけるウイルス肝炎、肝がんの撲滅ができるように鋭意努力していきたいと考えていますので、何卒宜しくお願い致します。



洗いましょう 見えない敵が ほら、そこに！

感染制御部 感染対策室

WHO(世界保健機構)では、世界中の医療施設に向けて『SAVE LIVES:Clean Your Hands (命を救う:あなたの手指衛生)』というテーマで感染予防を呼びかけています。このことからもおわかり頂けますように、病院感染予防においては、手指衛生が重要です。私たち感染対策室では、患者さんが院内で感染を起こさないような取り組みを行っています。その中でも、手指衛生(流水による手洗い・アルコールによる手指消毒)は「感染させない・広げない」ためにとっても重要な感染対策です。

感染対策室では、今年も活動の一環として手指衛生のコンプライアンス向上を目指して、6月11日～18日の一週間を手洗い強化週間とした「手洗いキャンペーン」を開催しました。適切な場面での手指衛生実施の有無を確認、手に付着している細菌を見えるようにする細菌検査(パームスタンプ)を行いました。患者さんにもご協力いた



写真1

き細菌検査を実施させていただきました(写真1)。見た目にはきれいな手ですが、多くの細菌が手に付着しているのを確認でき、手指衛生の重要性を認識しました。

また、患者さんや職員から手指衛生に関する標語やポスターを募集しました。56作品に及ぶ応募があり、厳選な審査の結果、最優秀作品には「洗いましょう 見えない敵が ほら、そこに!」、優秀作品には「あたたかい 私を癒す手 きれいがいい」が選出されました(写真2)。

今後も病院感染を防ぎ、患者さんが安心して入院生活を送ることができるよう、取り組みを行ってまいりますので、みなさん、ご理解とご協力をお願いいたします。



写真2

陸前高田市での被災地医療支援について

整形外科 堀江 亮佑

今回5/21～5/25の1週間、被災地医療支援として陸前高田市の岩手県立高田病院で勤務して参りましたので簡単に報告させていただきます。いわて花巻空港から山間部を越えて車で1時間ほど走った所に仮設の高田病院があります。被災した病院はまだ手つかずの状態であり、内部も視察させていただきましたが、鉄骨は折れ曲がり、天井からは無数の配線が露出し、津波の力を身をもって感じました。仮設の病院には手術室はなく、簡単な縫合処置や外来診療をメインに行いました。毎日70人前後の患者さんが整形外科を受診されました。疾病的には変形性膝関節症や腰部脊柱管狭窄症など、香川県でも診察頻度の高い疾患が多かったのですが、明らかに手術適応であるので手術を勧めても「まだ我慢できるからいい」とおっしゃる方がほとんどでした。東北人の気質なのかその我慢強さには驚きました。被災地の現状を肌で感じ、被災地の方と触れ合えたことは非常に貴重な経験となりました。被災地への関心は最近薄れつつあるように思いますが、この機会に感謝し、まだまだ復興乏しい被災地のために今後もできることがあれば行動していきたいと考えております。



のぞみ打ち上げの日に七夕コンサート

患者サービス課

1998年日本発の火星探査機「のぞみ」が打ち上げられた日と同じ7月4日、第6回七夕コンサートを開催しました。4組の出演者とゆかた姿で司会進行役を務めた看護師2人が、会場となった附属病院1階玄関ホールをいつもと違う楽しい雰囲気してくれました。18時30分、千田病院長の開会の挨拶の後、受付補助のボランティアで活躍している方をはじめとしたフラーズの皆さんがフラダンスを、2組目は放射線部に勤務する職員がソプラノ独唱を、3組目は高松二胡の会と美さの音の皆さんが二胡とオカリナ、ギター演奏を、取りは2年ぶりの登場となった高松千春さんが松山千春さんの歌を熱唱しました。19時50分、阪井副病院長の閉会の挨拶で締めくくり、会場の皆さんから温かい拍手をいただきました。

七夕飾りの短冊に書かれた一言一言が夜空に広がり皆さんの望みが叶うことを願いながら、秋のイベント(9月19日)開催の準備を始めました。



お知らせ

小児科

日時:9月1日(土) 11:00(予定)
場所:香川大学医学部附属病院(臨床教育開発棟)
名称:新生児蘇生法普及事業の主催講習会
内容:インストラクター養成を目的とする。

平成24年度関係医療機関懇談会の開催について

総務課

関係医療機関のニーズに応えること、地域との診療連携をよりスムーズに行うこと及び大学病院の現状などを報告・説明することを目的に下記のとおり開催します。関係医療機関の皆様のご参加をお願いいたします。

日時:8月23日(木)17時~
場所:リーガホテルゼスト高松(高松市古新町9-1)

卒後臨床研修指導医養成講習会(第11回)の開催について

総務課

厚生労働省の指針に則った「指導医養成講習会」を毎年開催しております。参加資格:臨床経験7年目以上の常勤医師対象 香川大学医学部附属病院および協力型臨床研修病院の指導医養成を通じ、本院および香川県内の医師育成に貢献しております。

日時:平成24年8月25日(土)午前8時30分~
8月26日(日)午後16時40分(16時間以上)
会場:TRESTA白山(香川県木田郡三木町下高岡972-30)

外来受診の予約について

患者サービス課

本院では、電話による初診・再診とも外来受診予約は行っておりません。予約方法は、

地域の医療機関から地域連携室を通じFAX予約をする方法
診察時に主治医が次回受診日の予約をする方法です。

の「予約」がなく「紹介状」だけお持ちの方、「予約」も「紹介状」もない方は、診察まで時間がかかります。
再診の場合、予約のない場合は来院の上、11:00までに受付して下さい。

イベントカレンダー H24.8月~H24.10月 予定表

日時	時間	場所	名称及び内容	担当	担当
8/4 土	15:30~	高松シンボルタワー	香川麻酔科医会サマースクール2012	麻酔・ペインクリニック科	(087)891-2223
8/8 水	19:00~20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
8/18 土	10:00~17:00	香川大学医学部附属病院	手術体験セミナー	手術部	(087)891-2283
8/25-26 土日	25日 8:30~19:30 26日 8:30~16:40	トRESTA白山	指導医養成講習会	卒後臨床研修センター	(087)891-2009
9/1 土	9:45~16:25	アルファあなぶきホール	第21回 中国四国脳神経血管内手術研究会	脳神経外科	(087)891-2207
9/1 土	11:00~(予定)	香川大学医学部附属病院(臨床教育開発棟)	新生児蘇生法普及事業「インストラクター養成コース」	小児科	(087)891-2171
9/3 月	18:00~19:00	管理棟4F 会議室1	緩和ケア講習会	腫瘍センター	(087)891-2054
9/8 土	14:30~(予定)	高松シンボルタワーホール棟6会議室	第67回 香川県整形外科集談会	整形外科	(087)898-5111
9/10 月	18:00~19:00	臨床講義棟1F	NST勉強会	腫瘍センター	(087)891-2054
9/11 火	18:00~20:00	臨床研究棟4F A会議室	第13回 最新医学研究会(血液)	内分泌・代謝・血液・免疫・呼吸器内科	(087)891-2145
9/12 水	19:00~20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
9/21 金	14:00~16:00	患者図書室オーリーブの郷	がん患者サロン	腫瘍センター	(087)891-2363
10/10 水	19:00~20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
10/13 土	17:00~20:00	JRホテルクレメント高松	第75回 香川大学眼科研究会	眼科	(087)891-2211



平成25年度 **看護職員募集**

看護師・助産師 **80名募集**

試験日 応募締切日
8月24日金 8月14日火
9月14日金 9月4日火
11月20日火 11月9日金
平成25年1月18日金 平成25年1月8日火

受付期間
平成24年7月11日(水)~
平成25年1月8日(金)

お問い合わせ先 **087-891-2320(看護管理室)**

本院への就職を希望される方には、左記看護職員募集要項パンフレットをお渡します。看護管理室へご一報ください。

外来駐車場は患者さまのもの!! 駐車ルールを守りましょう!!

編集委員会: 石井(看護), 石川(外来), 若瀬(病棟), 岡田(総務)
(50音順) 鬼村(患者サービス), 梶川(検査), 加藤(放射線)
白神(麻酔), 芳地(薬剤), 松本(看護), 安友(管理)
横井(情報) [委員長 千田病院長]